

バイデン政権の戦略と米中関係の行方

菅川平和財団上席研究員
渡部恒雄

- *崩れたアメリカ民主主義
- *世界に伝播した分断
- *議会運営と外交に精通
- *不幸を生きる糧に
- *アジア通の外交チーム
- *中国対民主義国
- *日本外交の選択
- *対中政策のパラダイム転換
- *米口首脳会談の意味
- *日本外交のバランス



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は久しぶりの対面の講演会ができました。たいへん幸いでございますが、状況によつてはいつまたおかしなことになるかわかりませんが、そのときはまたよろしくお願ひしたいと思います。

本日は、もう何回もおいでになっていただきありがとうございます。渡部恒雄さんにおいでいただきました。ご存じのように渡部恒三さんのご子息でありまして、東北大学の歯学部をご卒業になり、その後、政治学研究の方向へ転換されてアメリカに留学され、米国で研究員生活を送った後、日本でもいくつかの研究所を回られた後、今は菅川平和財団におられます。主にアメリカ、そして米中関係についてたいへん詳しい方でご

ざいますので、今日はバイデン政権の戦略、それから米中関係の今後について、われわれの知らないことをじっくりお話しただけということでございます。それでは渡部さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）

崩れたアメリカ民主主義

渡部 ただいまご紹介いただきました渡部恒雄でございます。本日にこちらはお久しぶりなのと、対面でお話しできることを、本当にうれしくおもっております。

バイデン政権が成立してから、こちらで話すのは初めてになりますので、そもそもバイデン政権とは何なのという話も含めてお話を今日はさせていただきます。